



柏の芽

令和2年2月3日

2月号

練馬区立中村中学校

校長 大石 光宏

◆自律性を伸ばす ◆実践力を身に付ける ◆連帯感を深める

意思あるところ 道あり

校長 大石光宏

やはり、異常気象でこれまでになく暖かい日が多い冬です。1月29日より3泊4日で、F組のスキー移動教室に行ってきました。生徒たちは無事にスキーを上達させて、帰校しました。長野県佐久市にあるパラダスキー場で行いましたが、人工降雪機で雪を降らせているため、ゲレンデで滑ることはできますが、周りの景色には雪はなく、冬という感じがしませんでした。農作物も豊作だそうで、大根などは大きくなり過ぎて出荷できない豊作貧乏ということがニュースになっています。

さて、受験も本番を迎えています。1月23日に多くの私立の推薦入試があり、発表も行われました。続く26日には都立高校の推薦入試があり、1月31日はその発表でした。今年の平均倍率は、2.55倍と毎年都立の推薦入試に関しては、受験の機会が増えるからという、安易な気持ちでは合格しにくくなっています。各都立高校は、自校に「入学して欲しい生徒像」を明確にし、どの学校もリーダー的な資質を重視する傾向があります。

これから、都立高校の一般入試出願（2月5日）と東京都の私立一般入試（2月10日から）が始まっていきます。私立・都立高校推薦入試で、求められていたように、「自分は、この学校に進みたい」という強い意志を持つことが必要だと思います。なんとしてもこの高校・進路に進むという自分の思いです。そんな思いがあれば、なかなか解けない問題に直面したときに『窮すれば通ず』という諺がありますが、ひらめきから解答が導き出せることもあるかも知れません。

「意思あるところ 道あり」(Where there's a will, there's away)とは、第16代アメリカ合衆国大統領リンカーンの言葉です。私自身もこの言葉をいつもかみしめています。自分はどのように考えて、どうしていきたいのか。学校としての教育活動の工夫や新しいことを始めようとするときに当てはまります。

3年生には、この言葉を最後の最後まで諦めずに持って欲しいと思っています。

サクラは、春になって咲かせる力を冬の寒さがあるこの時期に蓄えると言われています。暦の上では、立春を迎えますが、寒さを乗り越えることで、サクラは3月下旬から4月に咲き誇ります。

そして、リンカーンの言葉は、この数ヶ月のことを言っているのではなく、人生の中でも

いえることでしょう。たとえ思うように進まなくとも、意思がある限り、どこかで道は開けていきます。必ずどこかで、サクラは咲きます。

2年生・1年生も先輩たちを応援することと、自らもこの時期の取組がこれから学校生活に生きてくることを意識してもらいたいと思っています。 がんばれ、3年生！！

部活動成績

卓球部 練馬区新人大会 女子団体 準優勝(都大会進出)

バスケットボール部 光カップ 男子 優勝 優秀選手 春日 優輝君

女子 優勝 優秀選手 渡邊 望帆さん

1年生大会 男子 優秀選手 梅澤 空君

女子 優秀選手 谷村 さくらさん

これからの主な行事

2月の主な行事は、1月号をご覧ください

3月2日(月)全校朝礼 安全指導 都立一次発表手続き

3日(火)救急救命講習(3年生)

5日(木)避難訓練

7日(土)卒業を祝う会・保護者会(F組) 保護者会(1・2年)

9日(月)合唱コンクール(ルネ小平)

10日(火)都立分割後期学力検査 一斉委員会

13日(金)卒業式練習

16日(月)都立分割後期合格発表

17日(火)③④卒業式予行

18日(水)⑤⑥卒業式前日準備

19日(木)第71回卒業式

20日(金)春分の日

23日(月)都立定時制出願

24日(火)奉仕活動

25日(水)修了式



<1月23日(木)2年生百人一首大会の様子です>